

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)公開番号

特開2024-154619

(P2024-154619A)

(43)公開日 令和6年10月31日(2024.10.31)

(51) 國際特許分類

E 0 4 H 1/02 (2006.01)

FI

E 0 4 H

1/02

テーマコード（参考）

2 E 0 2 5

審査請求 有 請求項の数 10 O L (全16頁)

(21)出願番号 特願2023-68546(P2023-68546)

(22)出願日 令和5年4月19日(2023.4.19)

(11)特許番号 特許第7377390号(P7377390)

(45)特許公報発行日 令和5年11月9日(2023.11.9)

(71)出願人	307042385
---------	-----------

ミサワホーム株式会社

東京都新宿区西新宿二丁目4番1号

(74)代理人	100090033
---------	-----------

弁理士 荒船 博司

(72)発明者 富田 直樹

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

サワホーム株式会社内

Fターム (参考)	2E025	AA13 AA14 AA15
-----------	-------	----------------

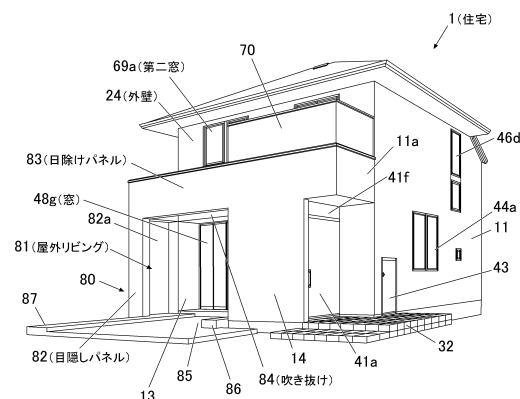
(54)【発明の名称】 建物

(57) 【要約】

【課題】本発明は、日の直射光が居室の窓を通じて居室に入射しないようにすることと、その居室の窓の外で過ごすのに適するようにすることを目的とする。

【解決手段】建物1は、1階部分及び2階部分を備える。建物1は、前記2階部分の外壁と、前記1階部分において前記外壁から奥まった位置に設けられた窓と、前記窓を介して屋外に面し、上方に第一天井を有する居室と、屋外において前記窓を介して前記居室に隣接し、上方に第二天井を有する屋外リビングと、屋外において前記外壁から離れた位置において前記外壁に対向する日除けパネルと、前記日除けパネルと前記外壁の間に形成され、前記屋外リビングから上方に吹き抜ける吹き抜けと、を備える。前記第二天井の高さが前記第一天井の高さに揃えられている。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 階部分及び 2 階部分を備える建物であって、
前記 2 階部分の外壁と、
前記 1 階部分において前記外壁から奥まった位置に設けられた窓と、
前記窓を介して屋外に面し、上方に第一天井を有する居室と、
屋外において前記窓を介して前記居室に隣接し、上方に第二天井を有する屋外リビング
と、
屋外において前記外壁から離れた位置において前記外壁に対向する日除けパネルと、
前記日除けパネルと前記外壁の間に形成され、前記屋外リビングから上方に吹き抜ける
吹き抜けと、を備え、
前記第二天井の高さが前記第一天井の高さに揃えられている
ことを特徴とする建物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の建物において、
前記日除けパネルの下端の高さが前記第一天井及び前記第二天井の高さに揃えられてい
る
ことを特徴とする建物。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の建物において、
前記窓はその上に垂れ壁の無い掃き出し窓である
ことを特徴とする建物。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の建物において、
前記窓がその横に袖壁の無い掃き出し窓である
ことを特徴とする建物。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の建物において、
前記居室が下方に第一床を有し、前記屋外リビングが下方に第二床を有し、
前記第一床と前記第二床がそれらの間に前記窓の下枠を置いて隣り合い、
前記第二床の高さが前記第一床の高さに揃えられている
ことを特徴とする建物。

【請求項 6】

請求項 1 又は 2 に記載の建物であって、
前記外壁に対して出隅を成すよう前記外壁に交差し、前記 1 階部分及び前記 2 階部分に
及ぶ第二外壁を更に備え、
前記居室が前記第二外壁を介して屋外に面し、
前記第二外壁が前記 1 階部分において前記窓から前記外壁の位置まで張り出して、その
張り出した部分が前記屋外リビングの側壁を成している
ことを特徴とする建物。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の建物において、
前記 1 階部分において前記第二外壁に沿って立てられた状態に設けられ、前記外壁の位
置における前記第二外壁の端から張り出した目隠しパネル
を更に備えることを特徴とする建物。

【請求項 8】

請求項 6 に記載の建物において、
前記第二外壁から前記屋外リビングを置いて前記第二外壁に対向する第二側壁
を更に備えることを特徴とする建物。

【請求項 9】

10

20

30

40

50

請求項 1 又は 2 に記載の建物において、

前記日除けパネルに対向する位置において前記外壁に設けられ、前記 2 階部分の床の高さにまで及ぶ第二窓を更に備えることを特徴とする建物。

【請求項 10】

請求項 1 又は 2 に記載の建物において、

前記外壁及び前記窓が南向きであることを特徴とする建物。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

本発明は、建物に関する。

【背景技術】

【0002】

特許文献 1 は、リビングとダイニングとキッチンを兼ねた主居室を 1 階に備える住宅を開示する。この住宅は、1 階の南面に主居室の窓を有する。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2021-55430 号公報

20

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

特許文献 1 に記載の技術では、たとえ庇が設けられても、高い日の直射光が庇で完全に遮蔽されず、主居室に入射してしまう。主居室が明るいことから、住宅の外の通行人等が主居室を見えやすく、居住者のプライバシーが守られない。

また、主居室のすぐ近くの屋外でも過ごせると、充実感のある快適な生活を送れる。しかしながら、特許文献 1 に記載の技術は、主居室の窓の外で過ごすのに適していない。

【0005】

本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、本発明の目的は、日の直射光が居室の窓を通じて居室に入射しないようにすることと、その居室の窓の外で過ごすのに適するようである。

30

【課題を解決するための手段】

【0006】

以下の括弧書きで示された参照符号は図 1 ～図 6 において参照される。

【0007】

請求項 1 に記載の発明によれば、

1 階部分及び 2 階部分を備える建物 (1) が、

前記 2 階部分の外壁 (24) と、

前記 1 階部分において前記外壁 (24) から奥まった位置に設けられた窓 (48g) と

40

、前記窓 (48g) を介して屋外に面し、上方に第一天井 (48d) を有する居室 (48) と、

屋外において前記窓 (48g) を介して前記居室 (48) に隣接し、上方に第二天井 (81a) を有する屋外リビング (81) と、

屋外において前記外壁 (24) から離れた位置において前記外壁 (24) に対向する日除けパネル (82) と、

前記日除けパネル (82) と前記外壁 (24) の間に形成され、前記屋外リビング (81) から上方に吹き抜ける吹き抜け (84) と、を備え、

前記第二天井 (81a) の高さが前記第一天井 (48d) の高さに揃えられている。

50

【0008】

以上のような請求項1に記載の発明によれば、日除けパネル(82)が外壁(24)から離れた位置において外壁(24)に対向するため、屋外リビング(81)が窓(48g)から日除けパネル(82)の下にまで広がりを持っている。

屋外リビング(81)の第二天井(81a)の高さが居室(48)の第一天井(48d)の高さに揃えられているため、窓(48g)が開けられたときには、屋外リビング(81)と居室(48)は一体感がある。

吹き抜け(84)が日除けパネル(82)と外壁(24)の間に形成されているとともに、屋外リビング(81)から上方に吹き抜けているため、その吹き抜け(84)が屋外リビング(81)に居る居住者に開放感を与える。

吹き抜け(84)を通じて屋外リビング(81)に入射した光が拡散反射等により間接的に居室(48)に入射することから、居室(48)が適度に明るい。

以上のことは、屋外リビング(81)で過ごすことを好適にする。

日除けパネル(82)が日の直射光を遮蔽し、その直射光が居室(48)に入射しづらい。そのため、居室(48)に居る居住者に不快な眩しさを感じさせない。

【0009】

請求項2に記載の発明によれば、請求項1に記載の建物(1)において、

前記日除けパネル(82)の下端の高さが前記第一天井(48d)及び前記第二天井(81a)の高さに揃えられている。

【0010】

以上のような請求項2に記載の発明によれば、屋外リビング(81)と居室(48)は一体感がある。

【0011】

請求項3に記載の発明によれば、請求項1又は2に記載の建物(1)において、

前記窓(48g)はその上に垂れ壁の無い掃き出し窓である。

【0012】

以上のような請求項3に記載の発明によれば、窓(48g)が、居室(48)に居る居住者に開放感を与える。

【0013】

請求項4に記載の発明によれば、請求項3に記載の建物(1)において、

前記窓(48g)がその横に袖壁の無い掃き出し窓である。

【0014】

以上のような請求項4に記載の発明によれば、窓(48g)が、居室(48)に居る居住者に開放感を与える。

【0015】

請求項5に記載の発明によれば、請求項3に記載の建物(1)において、

前記居室(48)が下方に第一床(48h)を有し、前記屋外リビング(81)が下方に第二床(86)を有し、

前記第一床(48h)と前記第二床(86)がそれらの間に前記窓(48g)の下枠を置いて隣り合い、

前記第二床(86)の高さが前記第一床(48h)の高さに揃えられている。

【0016】

以上のような請求項5に記載の発明によれば、屋外リビング(81)と居室(48)は一体感がある。

【0017】

請求項6に記載の発明によれば、

請求項1又は2に記載の建物(1)が、前記外壁(24)に対して出隅を成すよう前記外壁(24)に交差し、前記1階部分及び前記2階部分に及ぶ第二外壁(13)を更に備え、

前記居室(48)が前記第二外壁(13)を介して屋外に面し、

10

20

30

40

50

前記第二外壁（１３）が前記１階部分において前記窓（４８ｇ）から前記外壁（２４）の位置まで張り出して、その張り出した部分が前記屋外リビング（８１）の側壁を成している。

【００１８】

以上のような請求項６に記載の発明によれば、第二外壁（１３）は屋外リビング（８１）又は居室（４８）に居る居住者のプライバシーを守る。

【００１９】

請求項７に記載の発明によれば、

請求項６に記載の建物（１）が、前記１階部分において前記第二外壁（１３）に沿って立てられた状態に設けられ、前記外壁（２４）の位置における前記第二外壁（１３）の端から張り出した目隠しパネル（８２）を更に備える。

10

【００２０】

以上のような請求項７に記載の発明によれば、目隠しパネル（８２）は屋外リビング（８１）又は居室（４８）に居る居住者のプライバシーを守る。

【００２１】

請求項８に記載の発明によれば、

請求項６に記載の建物（１）が、前記第二外壁（１３）から前記屋外リビング（８１）を置いて前記第二外壁（１３）に対向する第二側壁（１６）を更に備える。

【００２２】

以上のような請求項８に記載の発明によれば、第二側壁（１６）は屋外リビング（８１）又は居室（４８）に居る居住者のプライバシーを守る。

20

【００２３】

請求項９に記載の発明によれば、

請求項１又は２に記載の建物（１）が、前記日除けパネル（８２）に対向する位置において前記外壁（２４）に設けられ、前記２階部分の床の高さにまで及ぶ第二窓（６９ａ）を更に備える。

【００２４】

以上のような請求項９に記載の発明によれば、第二窓（６９ａ）が２階部分の床の高さに及んでいても、日除けパネル（８２）が屋外の地上から２階部分の第二窓（６９ａ）に向かう通行人等の視線を遮る。よって、居住者のプライバシーが日除けパネル（８２）によって守られる。

30

【００２５】

請求項１０に記載の発明によれば、請求項１又は２に記載の建物（１）において、

前記外壁（２４）及び前記窓（４８ｇ）が南向きである。

【発明の効果】

【００２６】

本発明によれば、屋外リビングで好適に過ごせる上、日の直射光が日除けパネルによって遮蔽されて、その直射光が居室に入射しづらい。

【図面の簡単な説明】

【００２７】

40

【図１】建物の南東から建物を見て示す斜視図である。

【図２】建物の北西から建物を見て示す斜視図である。

【図３】建物の１階の平面図である。

【図４】建物の２階の平面図である。

【図５】Ⅴ－Ⅴに沿う断面図である。

【図６】Ⅵ－Ⅵに沿う断面図である。

【発明を実施するための形態】

【００２８】

以下、図面を参照して、実施形態について説明する。実施形態の特徴及び技術的な効果は、以下の詳細な説明及び図面から理解される。ただし、本発明の範囲は、以下に開示さ

50

れた実施形態に限定されない。図面は例示のみのために提供されるため、本発明の範囲は図面の例示に限定されない。

【0029】

以下の説明において、「第一」及び「第二」などのような序数が共通の名称に付されている場合、序数はそれが付された対象を識別する目的でのみ用いられる。序数はそれが付された対象を特定の対象に限定しない上、序数はそれが付された対象の順番、順位、順序、階級、優先及び劣後などを特定しない。

【0030】

以下の説明において、扉の種類が特定されている場合、扉の種類が変更されてもよい。扉の種類が特定されてなければ、扉の種類は如何なるものでもよい。扉の種類としては、引き戸、開き戸及び折れ戸などがあり、引き違い戸は引き戸の一種である。

10

【0031】

以下の説明において、窓の種類が特定されている場合、窓の種類が変更されてもよい。窓の種類が特定されていなければ、窓の種類は如何なるものでもよい。窓の種類としては、引き違い窓、上げ下げ窓、縦すべり出し窓、横すべり出し窓、倒し窓及び嵌め殺し窓などがある。以下の説明における窓は、可視光を通す透明なガラス板を有するガラス窓である。

【0032】

< 1. 建物の概要 >

図1及び図2は、建物1の南東から北西に向かって見た斜視図である。図3は、建物1の屋外に設置された外構の一部の図示が省略されている。図3は、建物1の1階の平面図である。図4は、建物1の2階の平面図である。図5は、図3及び図4に示すV-Vに沿った面を矢印方向に見て示す断面図である。図6は、図3に示すVI-VIに沿った面の1階を矢印方向に見て示す断面図である。図3及び図5中の“N”は北の方角を表し、“S”は南の方角を表す。

20

【0033】

建物1の正面は南を向き、背面は北を向き、右側面は東を向き、左側面は西を向く。これらの方角は、建物1の詳細な説明の便宜上、建物1の構成要素の位置的な関係性の説明のために、絶対的な方向として設定されたものである。そのため、建物1の正面、背面、右側面及び左側面の向く方角はそれぞれ南、北、東及び西に限るものではなく、他の方角であってもよい。

30

【0034】

建物1は、1階部分及び2階部分を有する2階建ての戸建て住宅である。建物1は、地震などのような外力と建物1自体の荷重とに抵抗する構造体を備えるところ、その構造体の種類、材質及び工法はどのようなものでもよい。例えば、建物1は、木造住宅、重量鉄骨造住宅、軽量鉄骨造住宅、鉄筋コンクリート造住宅又は鉄骨鉄筋コンクリート造住宅であってもよい。建物1は、構造体として壁式構造若しくはラーメン構造又はこれら両方を有してもよい。建物1は、パネル工法、軸組構法、軸組パネル工法、枠組壁工法、ユニット工法、鉄筋コンクリート工法若しくは鉄骨鉄筋コンクリート工法又はこれらのうち2以上の組み合わせにより建築されてもよい。一例では、建物1は、木質パネル接着工法によって建設された壁式構造を有する木造住宅である。

40

【0035】

ところで、近年、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの推進による脱炭素社会の実現や、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）が求められており、建築業界においても、建造物を二酸化炭素排出量の少ない木造とする取り組みが進められている。建物1が木造住宅であれば、この建物1は、カーボンニュートラルの推進と脱炭素社会の実現と持続可能な開発目標の達成とに貢献できる。

【0036】

< 2. 建物の外壁 >

50

建物 1 は、その東向きの右側面、北向きの背面及び西向きの左側面に右側面外壁 1 1、背面外壁 1 2 及び左側面外壁 1 3 をそれぞれ有する。これら外壁 1 1～1 3 は建物 1 の 1 階及び 2 階に及んでいる。外壁 1 2 が外壁 1 1 に直角に接合され、外壁 1 1 と外壁 1 2 が 1 階部分及び 2 階部分の北東の角部を成している。外壁 1 3 が外壁 1 2 に直角に接合され、外壁 1 2 と外壁 1 3 が 1 階部分及び 2 階部分の北西の角部を成す。

【0037】

建物 1 の 1 階部分は、2 階部分よりも南に張り出している。建物 1 は、その 1 階の南向きの正面に外壁 1 4、1 5 を備えるとともに、1 階の南部分における東西中央部に外壁 1 6 を有する。更に、建物 1 は、その 2 階の南向きの正面に外壁 2 4 を備える。2 階の南向き外壁 2 4 は、1 階の南向き外壁 1 4 よりも北に奥まった位置にある。外壁 2 4 が外壁 1 1、1 3 に直角に接合され、外壁 2 4 と外壁 1 1 が 2 階部分の南東の角部を成し、外壁 2 4 と外壁 1 3 が 2 階部分の南西の角部を成す。

【0038】

1 階の南向きの外壁 1 5 は、同じく 1 階の南向きの外壁 1 4 よりも北に奥まった位置にある上、外壁 1 4 の東に配置されている。外壁 1 4 及び外壁 1 5 は、1 階の南向きの正面のうち東側半分を占めている。外壁 1 5 が外壁 1 1 に直角に接合され、外壁 1 5 と外壁 1 1 が 1 階部分の南東の角部を成す。外壁 1 4 は外壁 1 5 の西において外壁 1 6 に直角に接合され、外壁 1 4 と外壁 1 6 が屋外において出隅を成している。外壁 1 6 は屋外において西向きである。外壁 1 6 は、2 階の南面の外壁 2 4 よりも北に奥まった位置から南に張り出した位置まで及んでいる。

【0039】

< 3. 建物の玄関周り >

建物 1 は、その 1 階の南東部分に、屋外空間となる玄関ポーチ 3 1 を備える。玄関ポーチ 3 1 は、2 階のバルコニー 7 0 の東部分の下方且つ外壁 1 5 の南に設けられているとともに、外壁 1 4 の東端から西側へ奥まるように設けられている。そのため、バルコニー 7 0 の東部分は、玄関ポーチ 3 1 の庇として機能する。なお、外壁 1 4 及び外壁 1 6 は、バルコニー 7 0 の外周を囲うパラペットを上端に有する。

【0040】

玄関ポーチ 3 1 の床面 3 2 は、玄関ポーチ 3 1 から南及び東に広がっている。つまり、玄関ポーチ 3 1 の床面 3 2 は、2 階のバルコニー 7 0 の東部分の下方から外壁 1 1 の東及び外壁 1 4 の南に及んでいる。アプローチが玄関ポーチ 3 1 の床面 3 2 から南へ延びるような地面に設けられている。

【0041】

建物 1 は、その 1 階の南東部分に開閉可能な玄関扉 4 1 a を備える。玄関扉 4 1 a は、外壁 1 4 の東端から西側へ奥まった位置において、外壁 1 4 と外壁 1 5 の間に設置されている。閉じられた玄関扉 4 1 a の外側の面は東向きである。閉じられた玄関扉 4 1 a は、外壁 1 6 の東において外壁 1 6 に対向して配置されている。外壁 1 6 は、その下部に地窓 1 6 a を有する。地窓 1 6 a は、嵌め殺し窓又は開閉可能な窓である。なお、地窓 1 6 a の代わりに、又は、地窓 1 6 a と併せて、嵌め殺し式又は開閉式の高窓が外壁 1 6 に設けられてもよい。また、地窓 1 6 a の代わりに、嵌め殺し式又は開閉式の掃き出し窓が外壁 1 6 に設けられてもよい。

【0042】

< 4. 建物の 1 階部分 >

建物 1 の 1 階部分は、間仕切り壁及び建具等によって、玄関 4 1、エントランスクローク 4 2、宅配ボックス 4 3、リビング 4 4、ホール 4 5、階段室 4 6、トイレルーム 4 7、ダイニングキッチン 4 8 及び非居室 4 9～5 2 に区画されている。

【0043】

玄関 4 1 は、1 階部分のうち、2 階部分よりも南に張り出した部分に設けられている。玄関 4 1 が外壁 1 4 を介して南の屋外に面し、玄関 4 1 が外壁 1 6 を介して西の屋外に面し、玄関 4 1 が玄関扉 4 1 a を介して東の屋外に面する。玄関 4 1 が玄関ポーチ 3 1 の西

10

20

30

40

50

に隣接する。玄関扉 4 1 a が玄関 4 1 と玄関ポーチ 3 1 の境界に設けられ、玄関扉 4 1 a が玄関 4 1 と玄関ポーチ 3 1 を仕切る。玄関 4 1 の土間部 4 1 b の床面は、玄関ポーチ 3 1 の床面と連続するとともに、玄関ポーチ 3 1 の床面と面一に設けられている。玄関 4 1 のホール部 4 1 c は、土間部 4 1 b の西に設けられているとともに、土間部 4 1 b よりも北に及んでいる。ホール部 4 1 c の床面と土間部 4 1 b の床面との間には段差があり、ホール部 4 1 c の床面が土間部 4 1 b の床面よりも一段高く設けられている。ホール部 4 1 c の床面は、建物 1 の 1 階の床レベルに相当する高さに設定されている。ホール部 4 1 c の北東部には、洗面台 4 1 d が設置されている。

【 0 0 4 4 】

エントランスクローク 4 2 及び宅配ボックス 4 3 は、玄関 4 1 の土間部 4 1 b 及び玄関ポーチ 3 1 の北に設けられている。エントランスクローク 4 2 は、玄関 4 1 の土間部 4 1 b から出入り可能である。エントランスクローク 4 2 及び宅配ボックス 4 3 の南が外壁 1 1 を介して屋外に面している。宅配ボックス 4 3 は、エントランスクローク 4 2 の東に設けられているとともに、エントランスクローク 4 2 から仕切られている。宅配ボックス 4 3 が外壁 1 1 と外壁 1 4 の入り隅に設けられ、宅配ボックス 4 3 の扉が外壁 1 1 に開閉可能に設けられている。

10

【 0 0 4 5 】

居室としてのリビング 4 4 は、ホール部 4 1 c、エントランスクローク 4 2 及び宅配ボックス 4 3 の北に設けられている。リビング 4 4 は、玄関 4 1 のホール部 4 1 c の北面に設けられた扉 4 1 e を通じて、ホール部 4 1 c から出入り可能である。リビング 4 4 は外壁 1 1 を介して東の屋外に面しており、リビング 4 4 の窓 4 4 a が外壁 1 1 に設けられている。窓 4 4 a は、例えば、腰窓、高窓、地窓又は掃き出し窓である。リビング 4 4 の床の高さはホール部 4 1 c の床の高さに揃えられ、これら床が連続している。リビング 4 4 の天井は折り上げ天井であり、その天井の外周部の一部又は全体はそれよりも内側の領域よりも低い棚状に設けられており、間接照明器がリビング 4 4 の天井の外周部の上に設置されている。なお、リビング 4 4 の南面には、窓が設けられていない。

20

【 0 0 4 6 】

ホール 4 5 及び階段室 4 6 は、リビング 4 4 の北に設けられている。ホール 4 5 は、リビング 4 4 の北面の西部から北に延びて、階段室 4 6 の北側に回り込んで東に延びている。階段室 4 6 は、ホール 4 5 の南西部から東に向かって踊り場 4 6 a に至る階段 4 6 b と、その踊り場 4 6 a の南部及び階段 4 6 b の下の収納庫 4 6 c と、を有する。踊り場 4 6 a は外壁 1 1 を介して東の屋外に面し、外壁 1 1 に設けられた採光窓 4 6 d が屋外の自然光を踊り場 4 6 a に取り込む。ホール 4 5 の床の高さはリビング 4 4 の床の高さに揃えられ、これら床が連続している。

30

【 0 0 4 7 】

トイレルーム 4 7 は、ホール 4 5 の東のつきあたりの東に設けられている。トイレルーム 4 7 の東は外壁 1 1 を介して屋外に面している。トイレルーム 4 7 は、踊り場 4 6 a の北部の下に設けられている。トイレルーム 4 7 の床の高さはトイレルーム 4 7 の床の高さに揃えられ、これら床が連続している。

【 0 0 4 8 】

非居室 4 9、5 0 は、ホール 4 5 及びトイレルーム 4 7 の北に設けられている。非居室 4 9 は、非居室 5 0 の東に設けられている。非居室 5 1 は、非居室 5 0 の西に設けられている。非居室 5 2 は、非居室 5 2 の西に設けられている。非居室 4 9 が外壁 1 1 を介して東の屋外に面する。非居室 4 9 ～ 5 2 が外壁 1 2 を介して北の屋外に面する。非居室 5 2 が外壁 1 2 を介して西の屋外に面する。

40

【 0 0 4 9 】

非居室 4 9 ～ 5 2 は水廻り室、収納室又は水廻り室兼収納室である。水廻り室とは、例えば洗面台、蛇口、浴槽、便器及び洗濯機用防水パンなどのような水廻り設備が設置された非居室のことをいう。収納室とは、棚、クローゼット、ハンガーラック及び物干しなどのような収納設備が設置された非居室のことをいう。水廻り室兼及び収納室とは、水廻り

50

設備及び収納設備の両方が設置された非居室のこと。具体的には、非居室４９が水廻り室としての浴室であり、非居室５０が水廻り室兼収納室としてのランドリールーム兼脱衣所であり、非居室５１が水廻り室兼収納室としての洗面所であり、非居室５２が収納室である。

【００５０】

非居室４９と非居室５０は、これらの間の間仕切り壁に設けられた扉を通じて行き来することができる。非居室５０とホール４５は、これらの間の間仕切り壁に設けられた引き戸を通じて行き来することができる。非居室５０と非居室５１は、これらの間の間仕切り壁に設けられた扉を通じて行き来することができる。非居室５１と非居室５２は、これらの間の間仕切り壁に設けられた扉無し開口を通じて行き来することができる。

10

【００５１】

非居室４９の床の高さは非居室５０の床の高さに揃えられていてもよい。非居室５０～５２の床の高さはホール４５の床の高さに揃えられて、これら床が連続して設けられている。

【００５２】

居室としてのダイニングキッチン４８は、リビング４４及びホール４５の東且つ非居室５１，５２の南に設けられている。ダイニングキッチン４８の西は外壁１３を介して屋外に面している。ダイニングキッチン４８は、間仕切り壁によってホール４５から仕切られている。ダイニングキッチン４８はリビング４４に通じている。間仕切り壁及び建具がダイニングキッチン４８とリビング４４との間の境界に設置されていないため、ダイニングキッチン４８とリビング４４が広々した一体的な空間を成す。ダイニングキッチン４８の床４８ｈの高さがリビング４４の床の高さに揃えられ、これらの床が連続して設けられている。ダイニングキッチン４８の北寄りの一部を除いて、ダイニングキッチン４８の天井４８ｄの高さは、リビング４４の外周部の天井の高さに揃えられている。ダイニングキッチン４８の北寄りの部分の天井４８ｅは、残りの部分の天井よりも低く設けられている。ダイニングキッチン４８の天井４８ｄの南のエッジには、天井４８ｄから凹んだカーテンボックス４８ｆが設置されている。

20

【００５３】

ダイニングキッチン４８は、その北部の東西中央部に設置されたシステムキッチン台４８ａを有する。ダイニングキッチン４８は、システムキッチン台４８ａの西にキッチンスペースを有し、システムキッチン台４８ａの東にスペースを有し、システムキッチン台４８ａの南にダイニングスペースを有する。システムキッチン台４８ａの東のスペースの北面には、扉４８ｂが設けられており、システムキッチン台４８ａの東のスペースがダイニングキッチン４８から非居室５１へ行き来するための動線となっている。システムキッチン台４８ａの西のスペースの北面には、扉４８ｃが設けられており、システムキッチン台４８ａの西のスペースがダイニングキッチン４８から非居室５２へ行き来するための動線となっている。ダイニングキッチン４８の床４８ｈの高さが非居室５１，５２の床の高さに揃えられ、これら床が連続して設けられている。

30

【００５４】

ダイニングキッチン４８の南は窓４８ｇを介して屋外に面している。具体的には、垂れ壁、腰壁及び袖壁などのような外壁がダイニングキッチン４８の南に設けられず、ダイニングキッチン４８の南面全体が開口して、その開口に窓サッシが設置され、これにより窓４８ｇがダイニングキッチン４８の南面に設けられている。窓４８ｇは引き違い式の掃き出し窓であり、窓４８ｇの下枠の高さがダイニングキッチン４８の床４８ｈの高さに揃えられ、窓４８ｇの上枠の高さがダイニングキッチン４８の天井の高さに揃えられている。特に、窓４８ｇの下枠は、ダイニングキッチン４８の床４８ｈに対して段差の無いフラットレール４８ｇａを有する。窓４８ｇの西の縦枠は外壁１３に取り付けられ、窓４８ｇの東の縦枠は外壁１６の北端に取り付けられている。窓４８ｇは２枚建て又は４枚建ての引き違い窓であってもよい。窓４８ｇが複数枚建である場合、何れかの窓障子が固定であり、他の何れかの窓障子が引き戸であってもよい。窓４８ｇは全開口型の折り畳み窓又は引

40

50

き違い窓であってもよい。

【 0 0 5 5 】

窓 4 8 g は、2 階の南面の外壁 2 4 よりも北に奥まった位置に配置されている。更に、窓 4 8 g は、西面の外壁 1 3 の南端よりも北に奥まった位置に配置されている。そのため、窓 4 8 g の縦寸法が大きくても、夏季の昼時の高い日の直射光がダイニングキッチン 4 8 に殆ど入射しない。このことは、ダイニングキッチン 4 8 の冷房効果を効率的に維持できることに貢献する。

【 0 0 5 6 】

< 5 . 建物の 2 階部分 >

建物 1 の 2 階部分は、間仕切り壁及び建具等によって、階段室 6 1、ホール 6 2、6 3、居室 6 4、トイレルーム 6 5、居室 6 6、ウォークインクローゼット 6 7、居室 6 8 及び寝室 6 9 に区画されている。

【 0 0 5 7 】

階段室 6 1 は、階段室 4 6 の北に設けられている。階段室 6 1 は、ホール 4 5 の上に設けられている。階段室 6 1 は、踊り場 4 6 a の北部から西に向かってホール 6 2 に至る階段 6 1 a を有する。

【 0 0 5 8 】

ホール 6 2 は、ホール 4 5 の上に設けられている。ホール 6 2 は、階段 6 1 a の最上段から西に延びて、そこから北に向かって非居室 5 0 の上に及び、更にそこから西に向かって非居室 5 1 の上に及ぶ。

【 0 0 5 9 】

ホール 6 3 は、ホール 6 2 の南においてホール 4 5 の上に設けられている。ホール 6 3 の床の高さがホール 6 2 の床の高さよりも高く、ホール 6 2 の床とホール 6 3 の床の間には数段の階段 6 2 a が設けられている。

【 0 0 6 0 】

トイレルーム 6 5 は、ホール 6 2 の北のつきあたりの北に設けられている。トイレルーム 6 5 は、非居室 5 0、5 1 の上に設けられている。トイレルーム 6 5 は、外壁 1 2 を介して北の屋外に面する。トイレルーム 6 5 とホール 6 2 は、これらの間の間仕切り壁に設けられた扉を通じて行き来することができる。トイレルーム 6 5 の床の高さはホール 6 3 の床の高さに揃えられている。

【 0 0 6 1 】

居室 6 4 は、ホール 6 2 の北のつきあたりの東に設けられている。居室 6 4 は、階段室 6 1 の北且つトイレルーム 6 5 の東に配置されている。居室 6 4 は、非居室 4 9、5 0 の上に設けられている。居室 6 4 は、外壁 1 1 を介して東の屋外に面するとともに、外壁 1 2 を介して北の屋外に面する。居室 6 4 とホール 4 5 は、ホール 6 3 の北のつきあたりの東に設けられた扉を通じて行き来することができる。居室 6 4 の床の高さはホール 6 3 の床の高さに揃えられている。居室 6 4 は、例えば作業部屋として利用される。

【 0 0 6 2 】

居室 6 6 は、ホール 6 2 の北西のつきあたりの西に設けられている。居室 6 6 は、トイレルーム 6 5 の西に配置されている。居室 6 6 は、非居室 5 1、5 2 の上に設けられている。居室 6 6 は、外壁 1 2 を介して北の屋外に面するとともに、外壁 1 3 を介して西の屋外に面する。居室 6 6 とホール 6 3 は、ホール 6 3 の北東のつきあたりに設けられた扉を通じて行き来することができる。居室 6 6 の床の高さはホール 6 3 の床の高さに揃えられている。居室 6 6 は、例えば子供部屋として利用される。

【 0 0 6 3 】

ウォークインクローゼット 6 7 は、1 階から踊り場 4 6 a までの階段 4 6 b の南に設けられている。ウォークインクローゼット 6 7 は、リビング 4 4 の北部の上に設けられている。ウォークインクローゼット 6 7 は、外壁 1 1 を介して東の屋外に面する。ウォークインクローゼット 6 7 とホール 6 3 は、ホール 6 3 の南のつきあたりの東に設けられた扉を通じて行き来することができる。ウォークインクローゼット 6 7 の床の高さはホール 6 3

10

20

30

40

50

の床の高さに揃えられている。

【 0 0 6 4 】

居室 6 8 は、ホール 6 3 及びウォークインクローゼット 6 7 の南に設けられている。居室 6 8 は、リビング 4 4、エントランスクローク 4 2 及び宅配ボックス 4 3 の上に設けられている。居室 6 8 は、外壁 1 1 を介して東の屋外に面するとともに、外壁 2 4 を介して南の屋外に面する。居室 6 8 の引き違い式掃き出し窓 6 8 a が外壁 2 4 に設けられている。

居室 6 8 とホール 6 3 は、ホール 6 3 の南のつきあたりの南に設けられた扉を通じて行き来することができる。居室 6 8 とウォークインクローゼット 6 7 は、これらの間の間仕切り壁の間仕切り壁に設けられた引き違い戸を通じて行き来することができ、その引き違い戸が開かれた場合には、掃き出し窓 6 8 a を通過した自然光が居室 6 8 のみならず、ウォークインクローゼット 6 7 にも入射する。居室 6 8 の床の高さは、ホール 6 3 及びウォークインクローゼット 6 7 の床の高さに揃えられている。

【 0 0 6 5 】

寝室 6 9 は、居室 6 6 の南且つホール 6 3 及び居室 6 8 の西に設けられている。寝室 6 9 は、ダイニングキッチン 4 8 の上に設けられている。寝室 6 9 とホール 6 3 は、ホール 6 3 の南のつきあたりの西に設けられた扉を通じて行き来することができる。寝室 6 9 と居室 6 8 は、これらの間の間仕切り壁に設けられた引き違い戸を通じて行き来することができる。寝室 6 9 の床の高さは、ホール 6 3 及びウォークインクローゼット 6 7 の床の高さに揃えられている。

【 0 0 6 6 】

寝室 6 9 は、外壁 1 3 を介して西の屋外に面するとともに、外壁 2 4 を介して南の屋外に面する。寝室 6 9 の 2 つの窓 6 9 a が外壁 2 4 に設けられている。窓 6 9 a が寝室 6 9 の床の高さから天井の高さにまで及んでいるため、居住者が寝室 6 9 の床に近い高さからでも窓 6 9 a を通じて屋外の下の方を見下ろすことができる上、屋外の自然光が寝室 6 9 の北部の方にも入射しやすい。窓 6 9 a は上下 2 段の段窓であり、窓 6 9 a の下の段は固定窓であり、窓 6 9 a の上の段は縦すべり出し窓である。なお、窓 6 9 a の上の段が上下スライド窓又は横すべり出し窓であってもよい。

【 0 0 6 7 】

寝室 6 9 の北部と南部の間の中間には可動式間仕切り 6 9 b が設けられ、寝室 6 9 が可動式間仕切り 6 9 b によって北部と南部に仕切られる。可動式間仕切り 6 9 b の一部が扉のように開閉可能であってもよい。可動式間仕切り 6 9 b はスライドにより全開可能であってもよい。

【 0 0 6 8 】

< 6 . 建物のバルコニー >

バルコニー 7 0 は、居室 6 8 の南に隣接して設けられている。バルコニー 7 0 は、玄関 4 1 及び玄関ポーチ 3 1 の上に設けられている。バルコニー 7 0 と居室 6 8 は、掃き出し窓 6 8 a を通じて行き来することができる。

【 0 0 6 9 】

< 7 . 建物の外構構造 >

建物 1 は、ダイニングキッチン 4 8 の窓 4 8 g の南の屋外に外構構造 8 0 を有する。外構構造 8 0 は、屋外リビング 8 1 と、外壁 1 6 の西において外壁 1 6 に対向する目隠しパネル 8 2 と、目隠しパネル 8 2 の上部と外壁 1 4 の上部の間に架け渡された日除けパネル 8 3 と、目隠しパネル 8 2 及び日除けパネル 8 3 に囲われた吹き抜け 8 4 と、屋外リビング 8 1 の底に設置された外構床 8 5 と、屋外リビング 8 1 の底に設置されたデッキ 8 6 と、屋外リビング 8 1 の底に設置されたデッキ 8 7 と、屋外リビング 8 1 の南に設けられた塀 8 8 と、塀 8 8 の南の地面に設けられた砌下（せいか） 8 9 と、建物 1 の屋根及びバルコニー 7 0 等に降った雨水を砌下 8 9 に送る排水設備 9 0 と、を有する。

【 0 0 7 0 】

屋外リビング 8 1 は、窓 4 8 g を介してダイニングキッチン 4 8 の南に隣接している。

窓 4 8 g が 2 階の南面の外壁 2 4 よりも北に奥まった位置に配置されているため、屋外リビング 8 1 の北部の上方が建物 1 の 2 階部分によって遮蔽されており、屋外リビング 8 1 がその北部の上方に天井 8 1 a を有する。なお、埋め込み照明器が天井 8 1 a に設けられてもよい。

【 0 0 7 1 】

屋外リビング 8 1 の天井 8 1 a の高さがダイニングキッチン 4 8 の天井 4 8 d の高さに揃えられているため、窓 4 8 g が開けられたときには、屋外リビング 8 1 とダイニングキッチン 4 8 は一体感がある。窓 4 8 g が 1 階の西面の外壁 1 3 の南端よりも北に奥まった位置に配置されているため、屋外リビング 8 1 の西が外壁 1 3 によって遮蔽され、外壁 1 3 が屋外リビング 8 1 の西の側壁を成す。そのため、建物 1 の南西からダイニングキッチン 4 8 に向かう視線が外壁 1 3 によって遮られ、居住者のプライバシーが外壁 1 3 によって守られる。外壁 1 3 のうちダイニングキッチン 4 8 の内面と、屋外リビング 8 1 の内面とは、窓 4 8 g の縦枠を介して面一となっている。そのため、屋外リビング 8 1 とダイニングキッチン 4 8 は一体感がある。

10

【 0 0 7 2 】

外壁 1 6 が屋外リビング 8 1 の東に配置され、屋外リビング 8 1 の東が外壁 1 6 によって遮蔽され、外壁 1 6 が屋外リビング 8 1 の東の側壁を成す。そのため、建物 1 の及び南東からダイニングキッチン 4 8 に向かう視線が外壁 1 6 によって遮られ、居住者のプライバシーが外壁 1 6 によって守られる。

【 0 0 7 3 】

20

目隠しパネル 8 2 は、西面の外壁 1 3 の 1 階部分の南端において外壁 1 3 に沿って建物 1 の基礎の上に立てた状態に設けられるとともに、外壁 1 3 の南端から南に張り出している。目隠しパネル 8 2 は、外壁 1 6 から西に離れて外壁 1 6 に対向し、屋外リビング 8 1 の西の側壁を成している。目隠しパネル 8 2 は、外壁 1 6 に向く面に、凹部 8 2 a を有する。その凹部 8 2 a は、目隠しパネル 8 2 の下端の高さから屋外リビング 8 1 の天井 8 1 a の高さにまで及んでいる。凹部 8 2 a は、ソファ、椅子及び収納ボックスなどのような家具置き場として利用できる。

【 0 0 7 4 】

屋外リビング 8 1 の西が目隠しパネル 8 2 によって遮蔽されている。そのため、建物 1 の南西からダイニングキッチン 4 8 に向かう視線が外壁 1 3 によって遮られ、居住者のプライバシーが外壁 1 3 によって守られている。なお、凹部 8 2 a の全体又は一部が目隠しパネル 8 2 の西面まで貫通することで、開口が形成されていてもよい。透明な窓ガラス板又はルーバーがその開口に設置されてもよい。

30

【 0 0 7 5 】

日除けパネル 8 3 は、2 階の南面の外壁 2 4 の下部から南に離れた位置において、目隠しパネル 8 2 の上部の南端から外壁 1 4 の上部まで架け渡されている。そのため、屋外リビング 8 1 は、ダイニングキッチン 4 8 の窓 4 8 g から日除けパネル 8 3 の下にまで広がりを持っている。

【 0 0 7 6 】

屋外リビング 8 1 は、日除けパネル 8 3 と、目隠しパネル 8 2 の南端と、外壁 1 4 , 1 6 が成す出隅とによって囲われた領域を通じて南に開放されている。そのため、居住者が屋外リビング 8 1 において開放感を持って過ごせる上、間接的な自然光がダイニングキッチン 4 8 に取り込まれる。

40

【 0 0 7 7 】

日除けパネル 8 3 と外壁 1 6 の上部と外壁 2 4 の下部と目隠しパネル 8 2 が囲んだ領域は吹き抜け 8 4 である。そのため、日光が屋外リビング 8 1 に直接入射して、屋外リビング 8 1 が明るい。屋外リビング 8 1 に入射した光が拡散反射等により間接的にダイニングキッチン 4 8 に入射することから、ダイニングキッチン 4 8 も適度に明るい。吹き抜け 8 4 は、屋外リビング 8 1 に居る居住者に開放感を与える。

【 0 0 7 8 】

50

日除けパネル 8 3 が高い日の直射光を遮蔽し、その直射光がダイニングキッチン 4 8 に入射しづらい。日除けパネル 8 3 が低い日の直射光を遮蔽し、その直射光がダイニングキッチン 4 8 の奥の方に入射しづらい。このようなことは、ダイニングキッチン 4 8 に居る居住者に不快な眩しさを感じさせない。

【0079】

日除けパネル 8 3 の下端 8 3 b の高さは屋外リビング 8 1 の天井 8 1 a の高さに揃えられている。日除けパネル 8 3 と目隠しパネル 8 2 の南端と外壁 1 4 , 1 6 が成す出隅とによって囲われた領域から窓 4 8 g までの屋外リビング 8 1 の空間が整然とする上、屋外リビング 8 1 の南側の開放感が高過ぎず且つ低過ぎずに適度である。

【0080】

日除けパネル 8 3 は、建物 1 の南の地上から 2 階の寝室 6 9 に向かう視線を遮る。寝室 6 9 の窓 6 9 a が寝室 6 9 の床の高さから天井の高さにまで及んでいても、居住者のプライバシーが日除けパネル 8 3 によって守られる。つまり、日除けパネル 8 3 は、寝室 6 9 の窓 6 9 a の大きな縦寸法のデメリットであるプライバシーの侵害を克服する上、窓 6 9 a の大きな縦寸法のメリットである高い採光性・屋外視認性を活かす。

【0081】

日除けパネル 8 3 の上端 8 3 a の高さは、寝室 6 9 の窓 6 9 a の下端の高さ及び寝室 6 9 の床の高さよりも高い。このような日除けパネル 8 3 の上端 8 3 a の高さは、窓 6 8 a の大きな縦寸法のデメリットの克服とメリットの活用のバランスがよい。更に、このような日除けパネル 8 3 の上端 8 3 a の高さは、屋外リビング 8 1 への直射光を適度に遮ることと、屋外リビング 8 1 に適度な日の明るさを与えることに貢献する。

【0082】

日除けパネル 8 3 の南面、外壁 1 4 の南面及び目隠しパネル 8 2 の南端が面一になっている。日除けパネル 8 3 の上端 8 3 a の高さが外壁 1 4 の上端及び日除けパネル 8 3 の上端 8 3 a の高さに揃えられ、日除けパネル 8 3 、外壁 1 4 及び日除けパネル 8 3 の上端 8 3 a に設置された笠木が連続的に設けられている。そのため、日除けパネル 8 3 、外壁 1 4 及び目隠しパネル 8 2 のデザイン性が高く、このデザインは観察者に重厚感を与える。

【0083】

日除けパネル 8 3 、外壁 1 4 ~ 1 6 及び目隠しパネル 8 2 は、同じデザインの外装材によって外装されている。外壁 1 3 のうち屋外リビング 8 1 の内面も、日除けパネル 8 3 、外壁 1 4 ~ 1 6 及び目隠しパネル 8 2 の外装材と同じデザインの外装材によって外装されている。玄関扉 4 1 a の上の垂れ壁 4 1 f と、外壁 1 1 のうち玄関ポーチ 3 1 の上方に張り出した部分 1 1 a も、日除けパネル 8 3 、外壁 1 4 ~ 1 6 及び目隠しパネル 8 2 の外装材と同じデザインの外装材によって外装されている。よって、建物 1 の南面のデザイン性がよく、このデザインは観察者に重厚感を与える。

【0084】

直射光がダイニングキッチン 4 8 に殆ど入射しないことから、ダイニングキッチン 4 8 が屋外よりも十分に暗い。そのため、建物 1 の南にいる通行人等は視線をこの建物 1 の南面、つまり目隠しパネル 8 2 の南端、日除けパネル 8 3 及び外壁 1 4 や、後述の塀 8 8 及び砌下 8 9 に集中させやすい上、ダイニングキッチン 4 8 の中を見づらい。よって、居住者のプライバシーが守られる。

【0085】

外構床 8 5 は、屋外リビング 8 1 の底に敷設された複数のタイルから構成されている。外構床 8 5 は、屋外リビング 8 1 から、南面の外壁 1 4 よりも南に張り出しているとともに、屋外リビング 8 1 の南から外壁 1 4 に沿って東へ延びている。

【0086】

デッキ 8 6 は、ダイニングキッチン 4 8 の窓 4 8 g の下枠に沿って屋外リビング 8 1 の底に敷設されている。デッキ 8 6 の高さはダイニングキッチン 4 8 の床 4 8 h の高さに揃えられており、デッキ 8 6 が窓 4 8 g の下枠を介してダイニングキッチン 4 8 の床 4 8 h に隣接している。そのため、窓 4 8 g が開けられたときには、屋外リビング 8 1 とダイニ

10

20

30

40

50

ングキッチン４８は一体感がある。デッキ８６のうち外壁１６寄りの部分は、屋外リビング８１から、南面の外壁１４よりも南に張り出している。デッキ８６は、その上方から見て、Ｌ字型に成している。

【００８７】

デッキ８７は、目隠しパネル８２の下端に沿って屋外リビング８１の底に敷設されている。デッキ８７は、デッキ８６の南に隣接している。デッキ８７は目隠しパネル８２の凹部８２ａにも入り込んでおり、デッキ８７が凹部８２ａの下方の床を成す。デッキ８７は、屋外リビング８１から、南面の外壁１４よりも南に張り出している。

【００８８】

塀８８は、人の腰の高さ程度に低い。塀８８は、外構床８５及びデッキ８７の南に隣接する位置において地面の上に積み上げられた多孔質岩石８８ａと、これら多孔質岩石８８ａの集合を覆ってこれら多孔質岩石８８ａの集合の形態を維持する金網ケース８８ｂと、を有する。金網ケース８８ｂは、金網を直方体の箱状に組み立ててなる。多孔質岩石８８ａは、金網ケース８８ｂに積み込まれている。これら多孔質岩石８８ａが単に積み上げられただけであり、セメント等のような結合材が多孔質岩石８８ａの間の隙間に埋められていない。多孔質岩石８８ａは、軽石などのように空隙率の高い天然溶岩石である。多孔質岩石８８ａは、発泡セメント固化物などのような人工石であってもよい。多孔質岩石８８ａの空隙率が高いため、多孔質岩石８８ａが保水性を有する。多孔質岩石８８ａが単に積み重ねられているため、多孔質岩石８８ａの集合が通気性及び浸水性を有する。

【００８９】

降雨時には、雨水が多孔質岩石８８ａの間の隙間に浸透し、その雨水が多孔質岩石８８ａに吸収される。その後、雨が止むと、雨水が多孔質岩石８８ａから蒸発することによって、多孔質岩石８８ａ及びその周囲が気化熱により冷却される。雨水が多孔質岩石８８ａによって保水されることから、多孔質岩石８８ａ及びその周囲が長時間にわたって冷却される。風が多孔質岩石８８ａの間の隙間を通過することから、その風が雨水の気化熱により冷却される。特に夏季の降雨後の南風が多孔質岩石８８ａの隙間を通過して、屋外リビング８１及びダイニングキッチン４８に吹き込むことから、その風が居住者に心地よい冷涼感を与える。そのため、塀８８は、冷房の使用頻度を下げる。強いては、塀８８は、省エネルギー社会の実現、二酸化炭素排出量の削減、脱炭素社会の実現、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）の実現に貢献する。

【００９０】

砌下（せいか）８９は、塀８８の南の地面に造成されている。砌下８９は、地面に掘られた凹部８９ａと、凹部８９ａの底に敷設された透水シート８９ｂと、透水シート８９ａ上において凹部８９ａに充填された石８９ｃと、を備える。透水シート８９ｂは、石８９ａの地面への沈下を防止する。

【００９１】

降雨時には、建物１のある敷地内に降った雨水が凹部８９ａに流れ込む。そのため、短時間で局地的な雨が降っても、敷地内の浸水を防止できる。石８９ａが凹部８９ａに埋められているため、雨水が凹部８９ａに流れ込んでも、水溜まりが発生しにくい。雨が止んだら、凹部８９ａに貯まった雨水が透水シート８９ｂを通過して地盤に浸透する。

【００９２】

排水設備９０は、建物１の屋根及びバルコニー７０等から砌下８９まで配管されている。排水設備９０は、例えば屋根の軒先に設けられた横樋と、横樋から外壁１３に沿って地面の下まで配管された縦樋と、バルコニー７０の床から縦樋まで配管されたバルコニー用樋と、地面の下において縦樋の下端から砌下８９まで配管された地下樋と、を有する。

【００９３】

このような雨水が排水設備９０によって砌下８９に送られるため、降雨時に水溜まりが建物１の敷地内に発生しづらい。

【符号の説明】

【００９４】

10

20

30

40

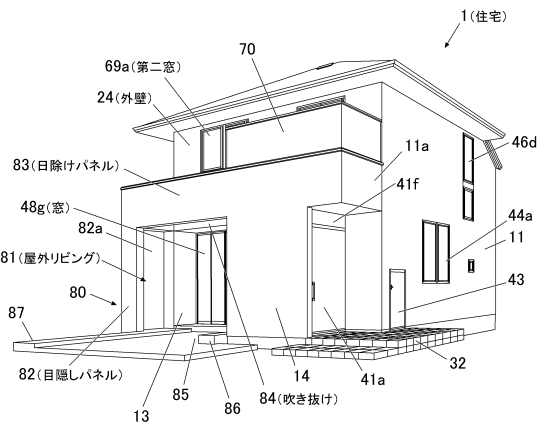
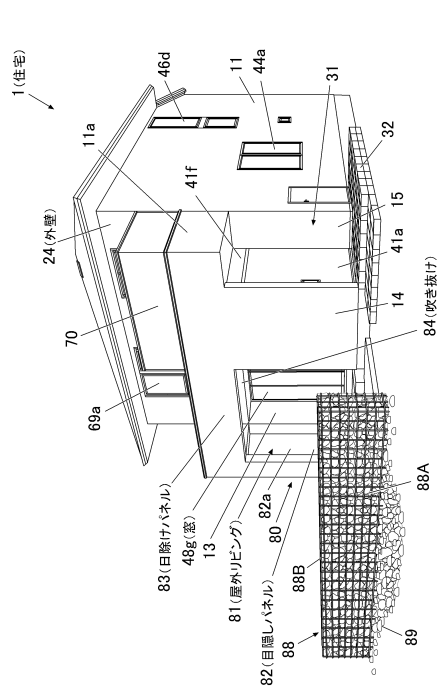
50

- 1 建物
- 1 3 外壁（第二外壁、側壁）
- 1 6 外壁（第二側壁）
- 2 4 外壁
- 4 8 ダイニングキッチン（居室）
- 4 8 d ダイニングキッチンの天井（第一天井）
- 4 8 g ダイニングキッチンの窓
- 4 8 g a フラットレール
- 4 8 h ダイニングキッチンの床（第一床）
- 6 9 a 寝室の窓（第二窓）
- 6 9 c 2階部分の床
- 8 1 屋外リビング
- 8 1 a 第二天井
- 8 2 目隠しパネル
- 8 3 日除けパネル
- 8 4 吹き抜け
- 8 6 デッキ（第二床）

【図面】

【図 1】

【図 2】



10

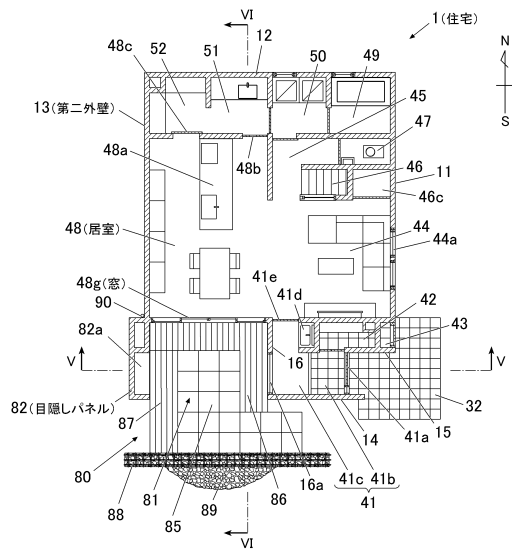
20

30

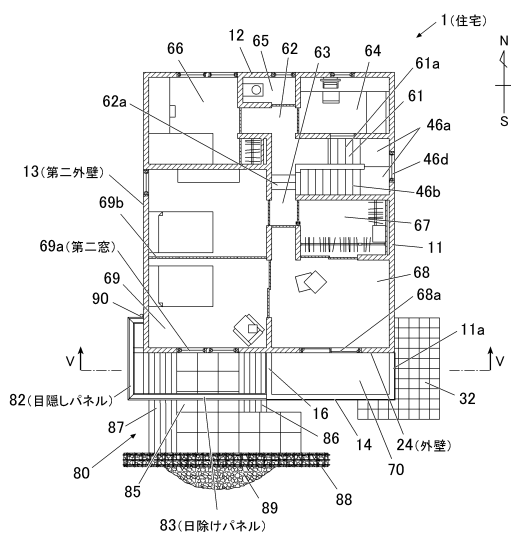
40

50

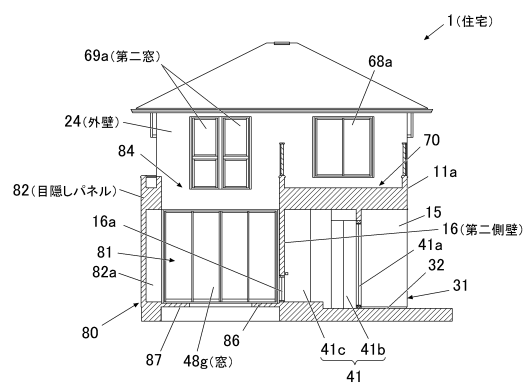
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

